

大師堂

く歩を塚貝

市内の千葉県宗教法
人名簿に登録された77
カ寺院のうち、39カ寺
が真言宗寺院で、すべ
て智山派に属していま
す。

弘法大師空海生誕1

250年を記念し、昨
年2月に真言宗智山派
宗務庁から発行された
「今に息づくお大師さ
まの信仰と伝説」など

により多岐にわたる「弘法大師信仰」
を知ることができます。

全国に3000を超える大師伝説が
あるとされ、市内でも大寺・龍尾寺に
弘法大師手掘りの井戸の伝説がありま
す。大師信仰が各地に広まった理由に
「高野聖」・「勧進聖」により弘法大師

信仰が広まったという見解があるとさ
れます。

寺院境内で見かける金剛杖と鉄鉢を
手にした旅姿で日本各地を歩いたとい
う弘法大師の姿の像は「修行大師」と
呼ばれ、弟子と共に地方へ布教する姿
といわれています。

大師像をまつる大師堂は、米倉・西
光寺、川辺・薬師寺、貝塚・寶光寺な
どにあります。大師の一千年忌に当た
る1834（天保5）年前後には「一千
年忌供養塔」の造立があり、西光寺で
は年忌を記念し天保3年に大師堂を建
てたのでしょうか。

寶光寺では本堂や阿弥陀堂より一段
高い場所に大師堂があり、創建は16
56（明暦2）年、貝塚村の谷津但馬
守内室（うちしつ・妻）の寄進による
とされます。

弘法大師の命日にあたる毎月21日に
かけて寺に集まる「大師講」も講員の
高齢化などから解散するものも見られ
るなか、現在でも続いている寺院もあ
ります。また、四国八十八ヶ所霊場を
模した「写し霊場」も八日市場・福善
寺境内や川辺・薬師寺参道にあり、薬
師寺では毎年秋に四国霊場巡拝を行っ
ていると聞きました。

市内の真言宗寺院には大師信仰が今
なお息づき、紅葉や新緑の季節には、
寶光寺大師堂や阿弥陀堂が美しい山寺
の風情を漂わせます。

（市文化財審議会委員・依知川雅二）

関秘書課広報広聴班 ☎73・0080



寶光寺大師堂